

# 理科

## 2026 年度入試のねらいと出題方針

### 出題方針

1. 本校に入学後、理科を学んでいくために必要な知識と論理的思考力を問います。
2. 理科への興味関心、科学的思考力を育てるような問題を作成します。

### 具体的な作問の方針

1. 知識に関する問題は、中学受験用の問題集における頻出事項を中心に出题します。
2. 論理的思考力は、日常生活や自然の中の体験や実験などを題材として、科学的知識を当てはめて考える形で問います。
3. 科学的思考力は、与えられた情報を分析し、必要に応じたデータ処理などをした上で、思考の過程や導かれる結論を表現する形で問います。
4. 大問は 4 題です。易しい問題から難しい問題という順に配列して受験生の学力を測定します。
5. 物理、化学、生物、地学分野を偏りなく出題することで理科の学力を総合的に測定します。

### 解答を進める上でのアドバイス

1. ①から順に解いていくことがよいでしょう。
2. ③まではあまり時間をかけず、行き詰ったときは、こだわらずに次の問題に移ったほうがよいでしょう。
3. ④は日常生活で経験していることを、小問を解きながら科学的に解明していく問題です。しっかりと問題文を読んで、内容を理解しながら筋道を立てて考えていきましょう。
4. 計算問題は指示に従って答えましょう。

### 採点基準と配点について

#### 1. 漢字に関する採点について

漢字という指定がない限り、ひらがなで答えても、単独の問題としては減点しません。ただし、答案全体としてひらがなが目立って多い場合は減点します。また、明らかな誤字は減点の対象となります。

#### 2. 単位に関する採点について

「単位を付けて答えなさい」という設問に対して、単位を付け忘れた解答は減点の対象となります。

#### 3. 配点について

大問①、②に 20～25 点、③、④に 35～40 点の配点とします。

## 2025 年度入試採点結果の分析

出題方針を若干変更しましたが、難易度は例年通りです。A 入試については例年と同様の得点率でしたが、C 入試については得点率が低くなりました。C 入試では①、②に物理・化学分野、応用問題である④に馴染みのうすい地学分野が出題されたことにより、全体として難しく感じた受験生が多かったようです。全体を通して、受験勉強で身に付けた知識を直接問う問題は得点率も高かったのですが、知識を応用するような問題はやや得点率が低くなっていました。

解答が 1 つではない自由記述は、よく考えられている答案が多数見受けられるようになった反面、思い込みで解答しており、問題の主旨から外れた記述をしているものもありました。問題を落ち着いて読み解くことを心掛けるといいでしょう。作図や計算問題では得点率が下がっており、このような問題が合否を分ける問題になっていたようです。そして、日常生活で「当たり前」に使っているであろう単語が答えられない受験生が一定数いました。理科は日常生活の中にありますので、日ごろから身の回りの出来事に興味関心を持っていたほしいです。

下の表の数字は得点率です。①、②は基本問題ですので、得点率は 7～8 割を超えてほしいです。今年は A 入試では 80%、C 入試では 60% 得点できると余裕をもって合格ラインを超えることができたようです。

|                                                                                                                                                                                                                    |         |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| <b>A 入試 55%</b>                                                                                                                                                                                                    |         |
| ①問 1 83% 問 2 81% 問 3 時刻 89% 理由 68% 問 4 67% 問 5(1)21% (2)76%<br>問 6 84%                                                                                                                                             | ①全体：72% |
| ②問 1 A～C 99% D 65% 問 2 84% 問 3 (1)ア 85% ▲72% (2)イ 83% ウ 92%<br>問 4 54%                                                                                                                                             | ②全体：74% |
| ③問 1 77% 問 2 66% 問 3 94% 問 4 91% 問 5 55% 問 6 24% 問 7 26%<br>問 8 33%                                                                                                                                                | ③全体：55% |
| ④問 1 ア 84% イ 89% ウ 71% エ 33% オ 63% XY 71% 問 2 74% 問 3 14%<br>問 4 キ 69% ク 52% 問 5 54% 問 6 7% 問 7(1) 8% (2) 23% 問 8 34%<br>問 9 III 9% IV 30%                                                                         | ④全体：40% |
| ① ②の用語を問う問題や受験理科の基礎知識を問う問題の得点率は高かったです。②は物理分野でしたが基本的な計算問題は得点率も高く、演習にしっかりと取り組んできた様子が見られました。③の後半は論理的思考力が求められる問題で、苦手な受験生が多かったようです。④の文章読解力を必要とする問題では、流れを良くつかみ、記述はよく考えられていましたが、計算問題は得点率が低くなりました。                         |         |
| <b>C 入試 43%</b>                                                                                                                                                                                                    |         |
| ①問 1 45% 問 2(1)88% (2)97% 問 3(1)39% (2)61% 問 4 C 27% D 25% E 59%<br>問 5 31%                                                                                                                                        | ①全体：53% |
| ②問 1①53% ②③63% 問 2 50% 問 3 29% 問 4(1)39% (2)23% 問 5 84%<br>問 6①55% ②29% 問 7 21%                                                                                                                                    | ②全体：46% |
| ③問 1 97% 問 2 69% 問 3③60% ④30% ⑤59% 問 4(1)65% (2)7%<br>問 5(1)29% (2)48% 問 6 24%                                                                                                                                     | ③全体：45% |
| ④問 1 あ 77% い 73% う 66% え 59% お 9% か 17% 問 2 25% 問 3 75% 問 4 16%<br>問 5 33% 問 6 14% 問 7 (1)18% (2)2% 問 8 48% 問 9 41% 問 10 57%                                                                                       | ④全体：36% |
| ①ふりこの問題は全体的に苦手だったようです。ふりこの基本的な性質をしっかり押さえましょう。<br>②理科用語と日常生活での現象をつなげて考えることがあまりできていなかった点については残念でした。③生物分野での計算問題は見慣れない部分もあったかと思いますが、問題文と資料をしっかりと読めば解ける問題でした。③・④の記述問題では、リード文の内容に沿って何がどうなると丁寧な解答を心がけている人はきちんと得点がとれていました。 |         |

## 2026 年度 理数探究 理科分野のねらいと出題方針

### 出題方針

以下の能力をはかる試験を作成します。

- ・理科で学んだ内容を、生活とつなげて考えることができるか。
- ・1つの事柄に対して、複数の視点から考えることができるか。
- ・疑問に対して、情報を整理し論理的な思考で自分なりの答えを出せるか。
- ・知識や考えを人に伝えるコミュニケーション能力を備えているか。

### 具体的な作問の方針

- ・実験や生活に関連するテーマでの文章読解力を要する問題を出題します。
- ・グラフや表の読み取りや、情報を整理して答えるような問題を出題します。
- ・表現力を問うような記述問題を多く出題します。
- ・答えが1つとは限らない自由記述問題を出題します。
- ・大問2題を出題し、物理、化学、生物、地学各分野を総合的に問いますが、扱う題材によっては出題分野に偏りが生じる場合もあります。
- ・出題傾向・難易度は「4科入試の理科」の過去問の4が参考になります。

### 解答を進める上でのアドバイス

- 1.大問2題には、難易度および配点の差をつけて作成をしていません。得意な分野から解答するとよいでしょう。
- 2.問題文に対しては、思い込みで解くことがないように素直に読み解き、グラフや表を条件に従って分析するようにしましょう。
- 3.時間配分に気を付けましょう。行き詰ったときは、こだわらずに次の問題に移り、最後まで解いてからその問題に戻った方がよいでしょう。

### 採点基準と配点

- 1.大問2題は各々25点ずつです。物理、化学、生物、地学各分野の配点は、題材によって大きく異なることがあります。
- 2.記述問題の解答における理科用語をひらがなで答えた場合や漢字間違いをしてしまっている場合、大きな減点はありません。しかし、全体を通してひらがなや漢字間違いが多い場合は、減点対象となります。できる限り、学習した理科用語は正しい漢字で書けるようにしておきましょう。

## 2025 年度 理数探究入試 採点結果の分析

4 分野の総合問題かつ A・C 入試の[4]と同様の難易度として出題しました。文章量も多く、記述・作図が中心の問題でしたが、自身の得意分野を選択しながら解答していたようです。答えが 1 つとは限らないような自分の意見を述べる問題に対しては、しっかりと解答できている人が多くいました。一方で、文章や表の情報を正確に読み取って答えなくてはならないような記述問題や、計算問題は得点率が低くなりました。文章中のヒントを書き出していくなど、工夫をしながら問題に取り組むようにしてみました。

**全体 46%      [1] 53%      [2] 39%**

[1] 問 1 84% 問 2 77% 問 3 17% 問 4 41% 問 5 42% 問 6 85% 問 7 49%  
問 8 34% 問 9 30%

[2] 問 1 22% 問 2 12% 問 3 57% 問 4 7% 問 5 11% 問 6 85% 問 7 59%  
問 8 57% 問 9 15%

[1] 問 1 での時間配分が重要でした。グラフは丁寧かつすばやく描けるように、ポイントをしっかりと押さえることが大事です。グラフを読み取り、考えを記述することは良くできていましたが。しかし、計算問題は苦手な生徒も多く、計算ミスも含めて得点率は低くなっていました。[2] 自身の考えではなく、論理的に理由を説明する記述については、時間が足りなかったためか、何かが足りないというような部分点どまりの解答が多くあり残念でした。題意に沿って適切な用語を選択し、記述に使用していくことが高得点へのポイントでした。